

会議開催記録

名 称	令和6年度 第1回 会津美里町まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	令和6年7月31日（水）午前10時から正午まで
開催場所	会津美里町役場本庁舎 2階 203・204 会議室
出席者	別紙のとおり（委員11名、事務局3名） 欠席：鈴木委員
議 題	1 会津美里町第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の令和5年度成果検証について 2 令和5年度デジタル田園都市国家構想推進交付金活用事業の効果検証について 3 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について 4 令和5年度企業版ふるさと納税事業の効果検証について
資料の名称	資料1～資料8
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内 容	
<p>委嘱状交付 委員を代表し、大橋氏に町長より委嘱状を交付</p> <p>1 開 会 （省略）</p> <p>2 町長挨拶 （省略）</p> <p>3 座長選出 石光委員を座長に選出し、異議なしとされ決定</p> <p>4 協 議</p> <p>（1）会津美里町第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の令和5年度成果検証について 【資料1～3】に基づき事務局より説明</p> <p>ア）基本目標1「儲かる地域をつくとともに、安定した雇用を創出する」 委員 町内企業の新規就業者数について、目標下回ったということだがそもそも何社くらいが新卒の募集をかけているのか。母数がどのくらいの数値になっているのか。合同就職説明会の参加者45人のうちの2人が実績として町内企業の新規就業者として挙がっているという認識でよいのか。 事務局 企業については30社あるが、企業ごとの求人数は不明である。 委 員 就職に関心がある生徒のうち30%だけが参加しているというのは、もったいないと思うので、100%150人程度の参加が望ましい。</p>	

事務局 町と会津西陵高校は、生徒の探究活動等で連携していることから、今後こうした関係を生かして、町に関心を持ってもらうように努めたい。

委員 農業収入に関連して、農地自体が減少しているということはあるのか。
また、農産加工について食品衛生法の改正により今年から漬物が作れないなど、難しさがあると聞かすが、生産全体への影響はあるのか。

事務局 KPI に設定している項目が農業収入であるため、農地の減少についての情報はつかんでいない。農産加工については、法改正等による変化はあるものの、生産自体への影響は低いと思われる。

議長 創業支援に関わる受講者、金融機関への創業志望者とはそもそもどのようなものなのか。

事務局 金融機関や商工が開催する創業支援のための講座を受講した創業志望者。

委員 創業支援に関する指標が C 評価となっている。信組が夜間、商工会が昼間の開催となっている。現在仕事をしながら、セカンドキャリアとして創業を考える人が多いため、オンラインと現地開催のハイブリッド形式を取り入れるなど、創業を考える人が時間や移動の制約なく参加できる仕組みは必要。

事務局 コロナ禍の令和3年度実績は53人で目標値を上回った年もあり、委員のご指摘のとおり、これまでのオンライン形式に加え、現地開催を、対象者が参加しやすい時間設定をするなどの配慮は必要と考える。

イ) 基本目標2「本町と多様に関わる人を増やし、新しい人の流れをつくる」

委員 宿泊者数と観光客数は、近隣市町村と比べるとどうなのか。

事務局 近隣市町村の情報は把握していないが、町内施設の「んだ」が4,400人、せせらぎ公園が5,400人ほどの宿泊数となっている。

委員 今住んでいる地域の行事に参加している子どもの割合が、過去4年の実績値が伸び悩んでいる。

事務局 地域の行事運営の中心は、高齢者であり、地域の伝統行事を将来に継承していくためには、若い人たちの力が必要不可欠となる。しかし、地域における若年層の数が減少している現状があり、子どものころ地域の行事に携わる機会だけでなく、行事を運営する高齢者との、行事を通じた交流等の取組みも今後検討する。

委員 観光客の入込について、観光施設の閉館は影響していないのか。
カウントしているのが高田と本郷のインフォメーションセンターに来た人の数のみをカウント対象としていいのか。

事務局 以前は入込数、イベントも含めてカウントしていたが主催者発表も含めてなのであまり現実的な数字ではなかった。なるべく現実的な数字にするため、カウントできるところで設定した。次期総合戦略においては、数値目標の設定に留意する。

委員 移住定住について、どこから、なにを目的に移住されたか把握しているか。

事務局 相談窓口を通じた移住者が、世帯数でいうと10あり、近隣市町村（特に会津若松市）からの移住者が多い。

この件数は、移住の際に補助金を交付した件数で、実際の移住者はもっと多いと考えられる。

委員 近隣市町村の取組みの中には、地元に戻ってくると、奨学金が一定期間償還してくれるといったものがあるが、奨学金に対する町の取組実績はあるのか。

事務局 町にも奨学金制度はあるが、利用者は減少している。近隣市町村の取組みを参考に検討しているのが現状。

ウ) 基本目標3「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

委員 待機児童が2人ということだが、待機児童解消のための新たな取組みは検討しているのか。

事務局 待機児童2名は、児童クラブにおける数値となる。待機児童が出ている学校に、空き教室の開放の協力依頼を行うなどの対応を講じている。

委員 育児休業取得について、そもそも母数が少ない印象。人単位として分かりやすい数字に変えるべきでは。

事務局 次期総合戦略のKPIにおいてはその点を踏まえ検討する。

委員 ミルキー教室に参加したこどもの数について、要因分析で明らかに参加者が減少しているのにKPIに入れておくのは、そもそも需要がないものを設定していることになるので整合性が図りにくい印象がある。

事務局 検討したい。

委員 育児休業取得について、育休が終わってから元のキャリア軸に戻れるかを気にして取らない、リスクになるから子供を産まない、という人もいる。育休は取れるけどデメリットは大きいとか、そういう部分について企業にアンケートをとることを予定しているか。

事務局 アンケートをとることは可能だが、こちらが把握したいネガティブな部分についてどれだけ回答を得られるかは不透明。

男女雇用機会均等法で育休の不利益が禁止されていること等の周知を行う事も同時に必要と考えている。

エ) 基本目標4「質の高い安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」

委員 あいあいタクシーの営業時間、人員、日数に変更はないのか。

事務局 令和4～5年度は運用台数に変更はない。

基本目標1～4の評価については資料1のとおり決定となった。

(2) 令和5年度デジタル田園都市国家構想推進交付金活用事業の効果検証について

ア) 会津美里町地方創生テレワーク推進事業

【資料4】に基づき説明

委員 サテライトオフィス自体の情報発信や見学の機会を設け、地域住民はじめ様々な人への周知を図る必要があると考える。

今後、情報発信や見学の機会について検討していく。

イ) 全方位デジタル社会形成に向けた町内全域 Wi-Fi 通信基盤の構築

【資料5】に基づき説明

委員 今後どういったサービスを検討しているのか。

事務局 高齢者の見守りサービスを検討している。

令和5年度に高齢者の見守りとして、タブレットを置いて電波を向けて服薬の時間などをタブレットに通知させる実証実験を行った。若干操作が難しいという意見があったが、見守り系のサービスはこの事業にあっている。導入するとなればまた企業と実証実験していきたい。

ウ) 自治体基盤クラウドシステムを活用した窓口改革

【資料6】に基づき説明

意見なし

上記ア)～ウ)の事業については、本会議での検証にて効果があったものと評価した。

(3) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について

【資料7】に基づき説明

委員 家電買い替え、区集会所の省エネ 集会所の改修お披露目会などで集いの場が復活した。家電買い替えは移住者の方でこれを機会に買い替えた方もいた。

ネウボラも子育て世代からは評判がよかった。

本事業については、本会議での検証にて効果があったものと評価した。

(4) 令和5年度企業版ふるさと納税事業の効果検証について

【資料8】に基づき説明

意見なし

本事業については、本会議での検証にて効果があったものと評価した。

以上、会議内容の要点記録として報告します。